

平成26年度 燕市・西蒲原郡学校保健部 活動報告

部長 池藤 仁市

1 研究主題

生きる力を育む健康教育



2 研究の概要

(1) 第1回 指導案検討会 期日：8月25日(月)
会場：吉田産業会館

① 単元名 毎日の生活と健康

② 協議及び指導の内容

ア 生活リズムカードの有効性

イ 分かっているけどできないことを、どうやってその気にさせるか、発問の仕方を工夫する。

(2) 第2回 授業研究会 期日：9月29日(月) 会場：松長小学校

単元名 毎日の生活と健康

授業者 佐野 正彦 教諭 青木香代子 養護教諭

指導者 県立教育センター 森 和香子 指導主事

① 授業の概要

児童に自分の生活に関心をもたせ、健康に過ごすためにはどんな生活を送ればよいのかを考えさせる。そして、健康の保持増進には健康の大切さを認識するとともに、健康によい生活の仕方を理解する学習を展開した。

② 協議会

ア 事前に行った自分の一日の生活の仕方が、自分の生活を振り返るうえで有効に働いていた。

イ 担任の生活リズムについての改善策が子どもからたくさん出ていた。

ウ 学習のめあてがはっきりしていた。まとめで再度一日の生活の仕方をカードに記入すると、言葉で書くよりも次につながる。

エ パワーポイントを使っての生活リズムについての説明は、自分の生活の見直しには役立ったが、内容が盛りだくさんとなっていた。内容の精選が必要である。

③ 指導

ア 導入で身近な担任の生活に注目させたことにより、意欲をもって学習に取り組んでいた。

イ ペア学習の目的意識をもう少しもたせるとよかった。

ウ アドバイスをもらって「こうすればできそうだ。」という期待感をもたせることが大事である。

エ 小学校では「なるほどな、本当にそうなんだ」という学びが大事である。

オ どのような方法、どのような手段が目の前の子どもに有効なのか、よく検討する。

カ 単元の評価規準、学習活動に即した評価規準を必ず盛り込むようにする。



3 成果と課題

児童に身に付けさせたい力を焦点化した事前の教材研究を行い、授業者の役割と資料の提示を明確にして指導にあたることで、目標を達成することができた。

事前検討会や当日の協議会で明らかになった改善点と指導を受けた内容を共通理解して、自校の実態に即して生かしていくことが課題である。